選書リスト

１　【竹】に関するもの

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 書名・作品名 | 出版社等 | 作者名・編者等 | 象徴しているもの（分析） |
| 竹　(「石垣りん 吉野弘 茨木のり子 詩人の世界」竹長吉正) | てらいんく | 吉野弘 | 竹はそびえたつ高層ビルにたとえられるくらい、高さがある存在。 |
| つねならぬ話　竹　 | 新潮文庫 | 星新一 | 元の領主の息子をまもる存在。良い環境をつくってくれる存在。悪意がなくなる。死ぬ場所。別世界。 |
| 竹（「月に吠える」） | 青空文庫 | 萩原朔太郎 | まっすぐな生き方の象徴。 |
| 竹のように（「子ども闘牛士―竹中郁少年詩集」） | 理論社 | 竹中郁 | 清廉な生き方の象徴。まっすぐで、根をしっかりとはって、どんな困難なことにも負けない、竹のように成長してほしいという存在。 |
| 竹林の七探偵 | 光文社 | 田中啓文 | 徳がたくさんある存在。万能を象徴する。盗賊よけ。若いときは食べられる、器になる、杖にもなる、細工の材料にもなる、武器にもなる、根がしっかりしているから、地震のときに逃げる場所にもなる、楽器になる、夏涼しく、冬温かい、香りがよい、葉が風に揺れ音がでる様子は心地よい、百獣の王である虎が住む場所として有名、人が集まる場所。 |
| タケと私たちのくらし | － | － | 昔は重要な建築資材。山菜。祝い事や信仰に用いられるもの。しかし今は軽視されている存在。昔は神秘的な植物の代表。 |
| 美女と竹林　 | 光文社文庫 | 森見登美彦 | 可能性の宝庫。魂が浄化される場所。魂が鍛えられる場所。 |
| 竹の文化誌　 | 原書房 | スザンヌ・ルーカス | 古くから人間の物理的・精神的欲求を満たしてきた植物の象徴。郷愁や畏敬の念を抱かせる存在。 |
| 竹に交じりて | － | 北原白秋 | 寄りかかることができ、頼りになる存在。 |

２　【月】に関するもの

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 書名・作品名 | 出版社等 | 作者名・編者等 | 象徴しているもの（分析） |
| オオカミその他（「おかしな先祖」） | 角川文庫 | 星新一 | 神秘的なもの。変身するきっかけとなるもの。別世界へと変化させるもの。 |
| テンと月（「千日のマリア」） | 講談社文庫 | 小池真理子 | 死を考えさせるもの。死と生の境界線をあいまいにするもの。 |
| ハルカと月の王子さま | 双葉社 | 鈴木おさむ | 地球から一番ちかい星。地球のまわりを回る存在。近くにいて見守ってあげる存在。 |
| 私を月に連れてって | 小学館 | 鈴木るりか | 月の裏側を人は見られないように、二面性がある存在。暗闇の恐怖を払ってやさしく包み込んでくれる存在。 |
| 月まで三キロ | 新潮文庫 | 伊予原新 | 裏側をもち、その裏側を地球の人に見せないため、何を考えているかわからないものの象徴。 |

３　【手紙】に関するもの

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 書名・作品名 | 出版社等 | 作者名・編者等 | 象徴しているもの（分析） |
| あしながおじさん | 新潮文庫 | ウェブスター | 見ず知らずの人をつなぐもの。 |
| てがみ | － | 岸田衿子 | 相手を気遣うもの。 |
| 青い封筒（「11の秘密 ラスト・メッセージ」） | ポプラ社 | 松村比呂美 | 感謝の気持ちを伝えるもの。夫婦の関係を変化させる象徴。 |
| おてがみ（「ふたりはともだち」） | 文化出版局 | アーノルド・ローベル | 自分がもらったことがないからこそほしいもの。待ち遠しいものの象徴。二人がより仲良くなるきっかけ。 |

４　【羽衣】に関するもの

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 書名・作品名 | 出版社等 | 作者名・編者等 | 象徴しているもの（分析） |
| 羽衣（「おーいでてこーい」） | 講談社青い鳥文庫 | 星新一 | 未来と過去をつなぐもの。空に浮かび上がるのに、必要なもの。タイムマシンに乗るのに、必要なもの。 |
| 古典を楽しむきっかけ大図鑑　第１巻 | 日本図書センター | 齋藤孝 | 天界に戻るために必要なもの。貴重なものの象徴。 |
| 日本の民話74近江の民話余呉の羽衣 | 未來社 | 中島千恵子 | 手に入れると別れが訪れる象徴。天国に帰るためのもの。天女を地上へと縛り付けるもの。 |
| 小川未明童話全集羽衣物語　 | 青空文庫 | 小川未明 | 天女と男とが出会うきっかけ。人間が扱えないもの。天女を地上へと縛り付けるもの。 |

５　【富士山】に関するもの

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 書名・作品名 | 出版社等 | 作者名・編者等 | 象徴しているもの（分析） |
| 富士 | － | 吉野弘 | 高い目標。自分では取り扱えない存在。 |
| 楽学ブックス　富士山 | JTBパブリッシング | － | 神話の山。畏怖。神の山。色々な象徴としての富士山がカラー写真と一緒に載っている。また、文学作品とともに、象徴として分析された文章も多数ある。 |
| ぼくの仕事場は富士山です | 講談社 | 近藤光一 | 人の力が及ばない自然の象徴。神秘的で人の力がおよばないもの。自分自身を、ありのままの存在で受け入れてくれる存在。日本がひとつになるというシンボル。 |
| 子ども日本風土記22静岡 | 岩崎書店 | 日本作文の会 | 神がいるみたいな山。いつも近くで見守っている山。 |

６　【不死の薬】に関するもの

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 書名・作品名 | 出版社 | 作者名・編者等 | 象徴しているもの（分析） |
| 不死の薬　 | 青空文庫 | 小川未明 | なかなか手に入らないものの象徴。命がけで探さないとみつからないもの。 |
| 錬金術師二コラ・フラメル　 | 理論社 | マイケル・スコット | 飲まないと、永遠の命を継続できないもの。禍々しいもの。 |
| 日本と世界を結んだ偉人　古代〜江戸編 | ＰＨＰ研究所 | 河合敦監修 | すべてのものを手に入れた始皇帝が最後にもとめたもの。けっきょく手に入らないもの。 |
| 世界の神話大図鑑 | ＰＨＰ研究所 | 佐藤俊之監修 | 神と悪魔が協力してつくったもの。神と悪魔があらそうきっかけとなったもの。火種。 |
| 14番目の金魚　 | 講談社 | ジェニファー・L・ホルム | 生命のサイクルから外れるもの。人の手にあまるもの。 |
| 世界でたったひとりの子　 | 竹書房文庫 | アレックス・シアラー | 永遠の子どもになれるが、その反面、永遠に大人になれないものの象徴。人間が外から腐っていくのは食い止めるが、内からの腐敗は直せないという、心の腐敗を招くものの象徴。 |